

ぽかぽか ドキュメンテーション

(11月園だより No.2) 日出みみょう乳児園・幼稚園

～人との関わりを通して～

お皿を持ち、食べる真似をしては「あちちっ」と言って楽しんでたSちゃん。

それを、側でじっと見つめていた0歳児クラスのMちゃん。

Sちゃんがお皿から顔を出すたびに大笑い。

その笑い声をきいたSちゃんもMちゃんの喜ぶ姿に、何度も「あちちっ」「あちちっ」と顔をだし二人で笑い合っていました。



らいおん組さんが大好きな造形作家の
とこ先生。

とこ先生が保育園に来てくれた時の、
子どもたちの表情は、「今日は何して遊ぶの」と
期待感でいっぱいです。

この日も、トイレトペーパーの芯が顔に
くっついちゃった。とこ先生芸で大爆笑！！

「もう一回」「僕もやりたい」と様々なあそびを
教えてくれるとこ先生の側から子どもたちは
離れることがありませんでした。

子どもたちは春から夏そして秋にかけて、たくさんの素材に触れ、絵の具、小麦粉、片栗粉など感触あそびを楽しんできました。先日の第1回ひのでアート展では、今まで子どもたちが遊んできたものが迷路やスライダーなどに変化し、親子でも楽しんでいただけたのではないのでしょうか。こうした日々の経験の中で子どもたちは、“なんでだろう、やってみたい”と自分から考えたり工夫したりする姿を見せてくれています。また、大好きな大人との関わりを基盤に、いつも側にいる友だちにも関わろうとする姿が増えてきました。人と関わることを通して、嬉しい、楽しいといった経験はもちろんですが、今まで一人では味わうことができなかった経験が、相手がいることによってより楽しくなったり、また、もっとこうしてみようなどアイデアがでてきてあそびが広がっていきます。まだまだこれからたくさんの人と出会い、そして関わる中で喜びや楽しさをいっぱい感じていってほしいと思っています。

日出みみょう乳児園 主任